

代表質問

9月10、11日の本会議では、市長から提出された議案や市政の重要な事項について代表質問を行いました。なお、1日には先行議決議案について代表質疑を行いました。その主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

自民党

あおき のりお
青木 功雄



25年度決算

◎ 性質別歳出決算を見ると、投資的経費は約79億円の減となったが、扶助費は今後も増加が見込まれ、市長が公約に掲げた保育施策や中学校給食にも財政負担が見込まれる。今後どのように財政運営を進めていくのか。

▲ 財政収支の中長期推計では、一定の経済成長と職員削減を見込んだ場合でも、ここ数年、毎年度200億円程度の収支不足が見込まれており、市の財政状況は極めて厳しい状況が続くものと認識している。全職員が市民感覚と市民目線に立ち、知恵と工夫とやる気を持って聖域なき見直しと3D改革(だれもが、どこでも、できることから)を進めることにより、着実な財政運営を行っていく。

行財政改革

◎ 全ての事務・サービスなどを対象として、ゼロベースで見直すとの姿勢は評価するが、市長は自らのマニフェストも聖

域なくゼロベースで見直すのか。

▲ 「最幸のまち かわさき」の実現に向け、政策や施策を着実に推進するとともに、将来にわたり持続可能な行財政基盤を構築するためには、「スクラップ・アンド・ビルド」を超えた「スクラップ・スクラップ・アンド・ビルド」を徹底し、聖域なく、ゼロベースで政策や施策の再構築を進めていく必要がある。選挙公約に掲げた施策もその例外ではなく、施策の優先順位づけなどを行いつつ進めていく。

学校における複数エネルギー源の導入

◎ これまで何度も災害時における給食室の複数エネルギー源の必要性を訴えてきた。進捗状況と今後の予定は。

▲ 避難所となる市立学校のうち、都市ガスのみを利用している学校にプロパンガス設備を併設する複数熱源化は、25年度は7校、26年度は14校で整備を行っている。災害時に復旧が容易なプロパンガス設備の特性を生かし、日常的に利用しつつ、非常時にも簡単な点検で使用可能な備蓄燃料として整備を進めていきたい。対象校120校への整備予定として、26年度事業を含めおおむね4年程度での完了を目指し、関係



局で協議していく。

避難勧告

◎ 避難勧告を出すに当たり、正確を期するあまり情報が後手になり被害を大きくした事例は、過去の災害でも多く見受けられる。基礎データの精度を高めるとともに、迷ったらまず逃げるという減災の基本に立ち、ちゅうちょなく避難勧告を出す行政の体質改善が必要なのは。

▲ 現在は、土砂災害警戒情報、降雨の状況、崖崩れの前兆現象が認められる場合を判断基準としている。今後は、気象庁が発表する土砂災害の危険性を示す土壌雨量指数も判断基準に加え、迅速に地域住民に避難準備情報や避難勧告などを発令し、的確に避難誘導が実施できるよう改善に努めていく。

(仮称)中小企業振興条例

◎ 同様の条例はほかの自治体でも見られるが、理念的な条例になることが少なくない。中小企業といっても千差万別、業界も違えば会社の規模もさまざま、全てを網羅すると総花的な内容になりがちである。市は、この条例のどこに意義を見出そうとしているのか。

▲ 「(仮称)中小企業振興条例」は、中小企業の大切さや重要性を踏まえ、市として中小企業を支援する姿勢を明確化するため、条例の検討と併せて、「(仮称)新かわさき産業振興プラン」の策定作業を進めている。このプランなどで条例趣旨を具現化し、中小企業の経営の安定化や新事業展開の促進など、実態に即した実効性のある施策を展開していきたい。

農業振興施策

◎ 開設を予定している大型農産物直売所セレスモス2号店の内容は。

▲ J Aセレス川崎からは、市中部以南の消費者が、「かわさきそだち(★1)」を

購入する機会を望む声が多いことから、27年度開業を目指して、宮前区宮崎2丁目地内に用地を賃借し、設計と許認可の調整を行っているという。



かわさきそだちのPRキャラクター「葉集ちゃん」

ごみの処理体制

◎ 橋処理センターを休止して3処理センター体制に移行した場合の環境効果と行財政効果は。

▲ 環境効果は、プラスチック製容器包装の分別収集による効果などにより二酸化炭素排出量年間3万6300トンの削減を見込んでいる。行財政効果は、40年間で約720億円を見込んでいる。

このほか、国民健康保険、遺体保管所の設置計画、羽田空港新飛行ルート、入札制度などについて質問がありました。

代表質疑

あおき のりお
青木 功雄

幼稚園の預かり保育

◎ 利用者と事業者双方に利便性の高い制度となっていない。他都市では独自の制度を設けて効果が出ていると聞くが、市も独自の制度を創設するべきでは。

▲ 従来からの預かり保育事業に加え、26年度から長時間預かり保育支援事業を開始し、保育所と同様に11時間の開園を行う私立幼稚園の預かり事業を支援している。今後、国から示される子ども・子育て支援新制度における一時預かり事業の内容を踏まえつつ、市独自の預かり保育制度を検討するとともに、国の補助制度を積極的に活用していきたい。

公明党

かわしま まさひろ
川島 雅裕



大雨浸水被害

◎ 7月20日の大雨による市内の浸水被害の状況と主な要因、今後の対策は。

▲ 1時間雨量が幸区で84ミリ、川崎区で83ミリの猛烈な雨を観測し、床上浸水が11件、床下浸水が8件、店舗などの浸水被害が28件発生した。被害の主な要因は、梅雨前線と上空の寒気の影響から一時的に大気の状態が不安定となり、短時間に激しい雨が降ったことで、排水能力を超えたことによるものと考えられる。今後も、浸水被害の軽減に向けて関係局で連携し、浸水リスクの高い地域での日常的な点検、パトロールに基づく雨水排水施設の機能確保や、居住者に対する日頃の備えの周知など、大雨対策の徹底に取り組んでいきたい。

わくわくプラザ

◎ 施設のスペースや人的配備に課題のある箇所があり、拡充が求められるが、今後の取り組みは。

▲ 事業開始から11年が経過し、利用児童が年々増加してきている状況で、狭あい化や多様なニーズなどへの対応は、各施設の状況に応じて学校や指定管理者と調整を図り、事業の充実に努めている。今後も、放課後の



児童の安全な居場所を確保し、仲間づくりの場であるわくわくプラザ事業の取り組みの拡充を図り、「最幸のまち」のシンボルである子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めていく。

認知症対策

◎ 保健師など専門職が家庭訪問し、認知症初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活をサポートする認知症初期集中支援チームと、地域で支援機関との連携や相談業務を行う認知症地域支援推進員の配置の取り組みは。

▲ 市の支援チームは、認知症コールセンターや区の老人精神保健相談クリニック、認知症疾患医療センター、かかりつけ医など、既存の早期発見、早期対応の取り組みとの関係性を勘案しつつ、「第6期市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に位置付けていきたい。推進員は、24年度から配置し、区の高齢者支援の担当者や認知症ネットワークの家族会と連携し、支援ネットワークの構築などに取り組んでいる。

妊産婦歯科検診

◎ 政令指定都市で妊産婦歯科検診を導入していないのは当市を含む2市だけであ



マザーズブラッシング事業

る。早急に導入すべきでは。

▲ これまでも各区保健福祉センターの両親学級、マザーズブラッシング事業などの実施やホームページなどを活用した歯科保健の普及啓発の充実に努めてきた。妊産婦を含む若い世代の口腔保健向上への効果的な取り組みは大変重要であることから、公的な歯科検診の必要性を含め、広く検討していきたい。

臨海部活性化

◎ 臨海道路東扇島水江町線の整備が遅れているが、要因と今後の整備計画は。

▲ 遅れの要因は、東日本大震災を受けて設計を見直したためと聞いている。現在、事業主体である国が条例に基づき環境影響評価手続を進めつつ、地域住民や地元関係者へ整備概要などの説明会を実施している。手続が順調に進むと、30年度中の供用開始を目指し、26年度中に現地工事に着手できると聞いている。

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種

◎ 国の定期接種に位置付けられ、26年から公費助成が実施されるが、概要と個人負担額、広報の取り組みは。

▲ 26年度に65歳から5歳刻みで100歳になる人と、26年度に限り101歳以上になる人も対象としている。10月1日から開始し、市内の協力医療機関で、原則4500円の自己負担で接種できる。対象者へは、個別に案内を送るとともに、市政だより、ホームページなどにより広報に努める。

このほか、行財政改革、給食費の公会計化、重度障害者助成制度の継続、観光のまちづくり、中小企業施策、環境施策などについて質問がありました。

代表質疑

ただまさ
かわの 忠正

子ども・子育て支援新制度

◎ 保護者への十分な情報提供が必要である。内閣府では専用のコールセンターの設置などを示しているが、見解と対応は。

▲ これまで、市ホームページによる広報や、区役所、保育所などで制度の利用を希望する保護者を中心にリーフレットの配布などを行ってきた。制度を円滑に実施するためには、さらなる周知が大変重要と考えている。これまでの取り組みに加え、市政だよりなどでの広報や、10月からの専用ダイヤルの設置などに取り組んでいく。

用語の解説

P2

★1 かわさきそだち

生産者の顔が見える新鮮、安全安心な市内産農作物のことです。

P3

★2 地域型保育事業

3歳未満児を対象に、少人数によるきめ細やかな保育を提供するもので、家庭的保育(保育ママ)、小規模保育、事業所内保育、居宅訪問型保育の4つのタイプがあります。

お知らせ

次の定例会は11月下旬から開かれる予定です。詳細はホームページに掲載します。